

姫花さんのハンカチ手に

塩屋埼
灯台

2023年9月30日、「ふくしま浜街道トレイル」が開通した。北は福島県新地町、南は同県いわき市まで、太平洋沿岸を中心に200キロを超える道を一本につなぐ長大なトレイルである。雄大な海を望みながら、阿武隈山系に育まれた自然や地域の歴史、文化に触れることができ、同時に東日本大震災と原発事故を語り継ぐ「伝承の道」でもある。私は一昨年から昨年にかけて数回に分けて福島を訪れ、このトレイルを歩いた。以下は、その折の記録である。

(元海上保安庁長官・佐藤雄二)



鈴木姫花さんの絵をあしらったハンカチ



岬に立つ塩屋埼灯台

最初の歩きは2024年11月、いわき市南部の（塩屋埼灯台）が立つ。勿来海岸から始まった。「日本の灯台50選」にも2日目、塩屋埼に到着し数えられ、地元では「豊かな日は、空も海も澄み渡る間の灯台」と親しまれる小春日和だった。岬の常磐沖を行き交う船の目先端には、1899年に印となってきた。



近くの土産物店で、鈴木姫花さんの絵がデザインされたハンカチを手にとった。姫花さんは9歳のとき

この灯台は、1957年に灯台絵画コンクールで年公開の映画「喜びも悲しみも幾歳月」のモデルとしても知られる。東日本大震災（2011年3月11日発生）で大きな被害を受けたが、9カ月後には再び灯がともり、21だったという。12年前、014年から一般公開が再開された。登り口の脇には美空ひばりのフロンズ像と歌碑があり、前に立つとヒット曲「みだれた髪」の一節が静かに流れわたる。

11つづく

